

IFCC 委員会参加報告

報告者 氏名: 古田 耕

報告者 日本での所属: 神奈川県立がんセンター

参加委員会正式名: Committee on Nomenclature for Properties and Units (C- NPU)

会議日: 2019 年 5 月 19 日～20 日

会議開催時の学会または行事: EuroMedLab 2019.

会議開催場所: Barcelona

委員会の概要報告:

・ 22 時 00 分 (JPN) よ Barcelona で開催された EuroMedLab 2019 に合わせておこなわれた IFCC Scientific Division の一部門である Committee on Nomenclature for Properties and Units (C- NPU)に参加してきました。

日程は、5 月 19 日および 20 日でした。

第一日目:

- 1) 参加者: Karin Toska (KT)、Koh Furuta (KF)、Ariadna Padró-Miquel (APM)、Ulla Magdal Petersen (UMP)web 参加
- 2) Young Bae Lee Hansen (YBLH)による C-NPU の現状に関する説明。
- 3) UMP による Status of Genetic codes after publication of “Properties and units in the clinical laboratory sciences part XXIV. Properties and units in clinical molecular genetics”の進捗状況の報告。
- 4) Denmark からの YBLH による Information Model に関して特に Why and How さらに Stakeholders に焦点をあてた報告。
- 5) 全員参加しての Terminology issues の議論。検討項目としては、以下が挙げられていましたが、深い議論は行われませんでした。
 - a. Inconsistency in CLSI allergen database – how to solve? (YBLH)
 - b. New decision process (an altered business model) for change of (new) models (YBLH)
 - c. Decision for rules of terminology and documentation
 - d. New terminology reference for mycobiology
(<http://www.mycobank.org/defaultinfo.aspx?Page=Home> (Rebecca?))
 - e. Suggestion to working group for ordinal kinds-of-properties (arbitrary) (YBLH)

第二日目

- 1) 参加者: Karin Toska (KT)、Young Bae Lee Hansen (YBLH)、Koh Furuta (KF)、Eline van der Hagen (EVH), from 10.30、以下 Web 参加; Gunnar Nordin (GN)、Robert Flatman (RF)
- 2) 昨年 11 月 9 日に Budapest で行われた会議と本年 2 月 26 日の Web 会議の議事録承認
- 3) 会議参加費用補助に関して。
- 4) 今後の会議予定は以下の通り。

Date and place for next meetings – suggestion:

 - a. Paris July 2019 in connection with IUPAC jubilee congress
 - b. IFCC Worldlab Seoul 2020
 - c. IFCC-EFLM Euromedlab Munich 2021
- 5) 関連組織地域からの報告
 - a. IUPAC
 - b. VIM working group (Gunnar Nordin)
 - c. Denmark の現状について(YBLH)

Symantic interpretability project に関して説明があり、最終目標としては、Denmark 内のすべての組織が同じ検査言語で情報のやりとりができるようになることを目指すとのこと。

d. Norway の現状について(KT)

ehealth という project が動いている。 Genetic code 計画では NPU/NO codes が利用されている。これは、code per gene であり、code per SNP/mutation.ではない。

Norway のすべての検査室は検査の refund 目的で code 化されている。これが実現すると大小どのような検査室でも結果のやりとりが円滑に行われるようになるだろうという推測がなされた。

e. Sweden の現状について (GN)

Information model project について。microbiology 分野での NPU code について。Coding のデータベースの更新について。この中で特に翻訳のことが話題になり、Sweden では英語を Sweden 語に翻訳、Norway では英語をそのまま使っている、さらに Denmark は technical term 以外は翻訳という現状が報告された。

f. Japan の現状について古田が説明(KF)

•SI unit の現状について説明。その他として ICD-11 の和訳、DPC が医療情報の resource として利用されだしていることなどについて説明。

g. Netherlands の現状について(EVH)

オランダでは、Dutch LabCode の導入が開始され、これは、LOINC/Snomed/ct. に基づいていることが報告された。NPU を推奨する参加者からはやや失望の声があがったが、現実には、LOINC の方が広く使われていることが指摘され、さらに導入決定時に NPU の存在は認識されていなかったことなども追加された。

6) NPU Steering Committee の報告。

英国からの報告はなく、おそらく英国は NPU coding を採用しないだろうという推測がでた。snomed/ct との議論は、公式に行われるべきだが、今はまだ非公式なレベルにとどまっている。Denmark は EU の ehealth に参加した。Czech-Republic が NPU coding system の導入に前向きだった。

Project reports:

a) definitions for non-referenced terms in the NPU terminology (HMJ).

c) Online dynamic NPU manual (YBLH).

d) Promotion material at IUPAC conference (HMJ).

7) Genetic codes “Properties and units in the clinical laboratory sciences part XXIV. Properties and units in clinical molecular genetics”に関して今後議論を深めていくことが合意された。

8) 今後の新規 project について、下記があることが共有された

a) The general promotion project.

b) Microbiology revision project

c) Immunology project..

d) Information model.

その他) オランダ代表から IFCC WG-FIT meeting で unit に関する議論があったことが報告された。

ug/g が fecal quantitative immunological results に用いられているが、ug/l も用いられているという現状がある。C-NPU からのアドバイスはないかという問いかけがなされた。次回、議論することが提案された。

以 上